

平成23年度厚生労働省の硫黄島遺骨帰還事業への協力について

- 1 23.7.6 厚生労働省の平成23年度実施予定の「遺骨帰還等派遣補助金」事業主体の公募が行われ、大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会（以下「全慰協」）、日本遺族会、日本青年遺骨収集団等の6団体が選定された。
水交会としては、協力団体である全慰協の受託事業に協力する形で、関係諸団体と協議しつつ硫黄島遺骨帰還事業に協力していくこととした。
- 2 全慰協に協力する団体は、偕行社、水交会、つばさ会、隊友会、日本郷友連盟の5団体であり、全慰協が各団体の参加希望者名簿を整理保管し、要請のある度に各団体と調整して参加者を厚生労働省に推薦することとされた。
- 3 厚生労働省の第1回派遣（23.8.30～9.7）が計画されたが、硫黄島の湧水状況が改善せず、23.8.12延期が決定された。
- 4 水交会の対応
 - (1) 厚生労働省の派遣規模は各回50名・9日程度であり、全慰協としては各回5～10名程度の割り当てと見積られる。第1・2回派遣は、硫黄島勤務経験者、慰霊顕彰・援護委員会会員等を各回2名程度参加させ、事前研修、硫黄島の現況、遺骨収容作業等の情報を入手して、事後の水交会の本事業に対する協力計画に反映させる。
 - (2) 23.9.10 全慰協に水交会の参加希望者名簿（5名）を提出した。
 - (3) 23.10.17 第1回派遣の内定通知（水交会の割り当て 1名）があり、山本博秋氏（元硫空基司令）を推薦した。
（割り当て 全慰協1名、偕行社1名、隊友会2名）
日程： 23.11.29（火） 入間集合 結団式
11.30（水） 入間発 硫黄島着
12.1（木）～12.6（火） 硫黄島
12.7（水） 硫黄島発 入間着 解散
補助金： 交通費、日当、宿泊料
 - (4) 第3回派遣以降については、参加者を募集し全慰協に推薦する。
募集要領については、第1・2回参加者の情報を得て検討する。